



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2017~2018 年度主題

国際会長	「国境なき友情」
アジア地域会長	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事 栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
北東部部長 鈴木伊知郎 (宇都宮東)	「明日のために、いま土台を築こう」
会津クラブ会長 青山孝男	「新しい可能性を秘めて、共に歩もう！」

<No.273 会津通信>
2018 年 1 月 17 日発行

会 長	青山孝男
副会長	高橋眞美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇1月の聖句◇

心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。

マタイ福音書 5 章 8 節

1 月例会プログラム

日時 ; 2018 年 1 月 17 日 (水)19 : 00~

会場 ; 栄町教会

司会 ; 高橋眞美さん

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 青山孝男会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | |
| 7. 会 食 | |
| 8. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| 9. 閉 会 点 鐘 | 青山孝男会長 |

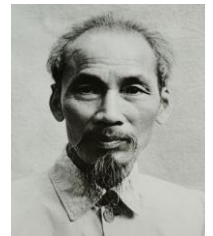
<12 月例会出席状況>

在 籍 者 5 名 ゲスト 0 名
出 席 者 4 名
* 例会出席率 80%
あ か べ こ 0 円
17-18 年度合計 15,000 円

大使閣下の料理人

青山孝男

2月のTOF (Time of Fast) は、「断食の時」とも呼ばれ、世界の飢餓に苦しむ人々の苦しみを覚えるとともに生活の向上を支援するため、例会の食事を抜きにして、その分の金額を国際に献金し、その年度に定めた途上国での開発事業に捧げる活動ですが、正月に櫻井翔主演！新春ドラマスペシャル『大使閣下の料理人』を興味深く観ました(数回放映されている)。



これは「文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞原作!!1人の公邸料理人が、料理で世界を動かす！日本がかかえる様々な外交問題をおもてなし料理で解決に導く極上エンタテインメント」で、主人公の大沢公は在ベトナム日本国大使館の公邸料理人。専門はフレンチ。ドラマの後半に日本大使の自宅にベトナムの高官を招き食事をご馳走した際に、コースのメインメニューは空の皿が出されて、「これはただのお皿じゃないですか」とベトナム大使が尋ねると、日本大使は私たちがベトナムで得た全てのおもいをこの皿に盛り込みました。この一品にはホーチミン主席(写真)のことを素材にしました。1945年9月にベトナムの大飢饉の前に、ホーチミン主席はこんなことをおっしゃたそうですね。「愛する同胞の皆さん飢饉は日に日に悪化の一途をたどっています。そこで私は、全国の同胞の

☆ 強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う。 ☆

皆さんに提案があります。十日に一度一回の食事を抜きましょう。一ヶ月に3度の食事を抜きましょう。そしてその米を貧しい人を助けるために持っていきましょう。

皆で助け合えば餓死はまぬがれると」……………

これは十日に一度の食事ですかとベトナムの高官は尋ね、更にもとはと言えばあなた方日本人が餓死に追いやったことではないですか。これに対し日本大使は、しかしホーチミン主席のお言葉と精神は我々の中にも確実に息づいています。決して貴国をないがしろにしているわけではありません。今夜はそのこと分かって頂きたいとおもいました。さらに続きますが、TOFを思い出し紹介してみました。原作は西村ミツル・かわすみひろし「大使閣下の料理人」

(次回は高橋真美さん)



1月活動報告

<今年も十日市出店休み>



会津最大の初市「十日市」は10日、会津若松市の神明通りなどで開かれ、新年の幸せや家内安全などを願い縁起物を買って求める来場者でにぎわった。前日夕方より降り出した雪が

積もり心配したが、昼頃は青空が広がり暖かく夕方頃からまた雪が降りだした。約400店の出店が軒を連ね、会津の民芸品起き上がり小法師(こぼし)や風車、だるまなどの縁起物のほかに焼きそば、お好み焼き等の食べ物そして、子どもに人気のチョコバナナ、フルーツ飴も並んだ。



ようやく昨年11月に、解体撤去されていたアーケード建設工事が始まり、2月には新しいアーケードが完成の予定です。(写真左)

2019年1月10日の「十日市」には出店する予定です。

出店場所の下見に十日市出掛けたが、なんといつもの場所に**太い円形の柱が！！**ここに出

店するにはスペースがなく心配です。

さて、どこの場所になるの？

口棹が従来の出店位置

(緑のシートは綿あめの販売をしていました)



会津の先人たち (会津若松市 HP より)

医師を超えた人

渡部 鼎(わたなべかねえ)

(1858～1932)

野口英世の恩人

野口英世が医学を志すきっかけとなった出来事は、会陽医院での手の手術だったことはよく知られています。この手術を行った医師が、渡部鼎その人でした。当時、県内でも最高の技術を持つ医師で、その経歴は波乱に富んでいました。



医学者になるまで

渡部鼎は安政5年(1858)に、河沼郡野沢(今の西会津町野沢)の漢学者渡部思斎の長男として生まれ、当時、門弟3千人を持つといわれた父親から漢学を学びながら成長しました。

明治5年、14歳になると横浜の高島嘉右衛門の藍謝堂(通称高島学校)で英学と理化学を習得します。その後、医学を志して大学南校(今の東京大学医学部)に入学するとともに、大家(たいか)の一人である岩佐純にも師事して医学を習得しました。

医師としての軌跡

明治10年、若年18歳で警察医や陸軍軍医試験などに合格し、警察病院勤務をはじめ、陸軍病院や医学校の講師などを歴任しました。また、日本国内で初めてインフルエンザの流行を発見・確認したり、脚気(かっけ)の原因について新学説を発表したりするなど、精力的な活動をしています。

鼎は明治18年末に渡米すると、カリフォルニア大学医学部で外科をはじめ13科目を習得し、同21年にはドクトル・オブ・メディシンの学位を受け、卒業とともにサンフランシスコに開業しました。(以下次号)



◆ 今後の予定 ◆

◇ 2月例会 2月14日
TOF 例会

◇ ユニークダンス (休み)